関西大学北陽高等学校・中学校　体育館建設事業募金のお願い

1. ごあいさつ

このたび教育環境整備の一環で、平成24年から25年にかけて築後48年が経過し老朽化した体育館を建て替えることになりました。

この体育館は鉄筋鉄骨４階建てで、温水プールを含めた、多様なスポーツ施設と、1,300人が収容できる「講堂」を備えます。

また、グラウンドには陸上トラック部分を除いて、ほぼ全面に人工芝を敷き詰めます。

本校の新しいシンボルとなる体育館の建設にあたり、経費の削減や事業の選択・集中を図るなど、できる限りの自助努力をいたしておりますが、なお多額の資金が必要でございます。教職員はもとより、保護者、同窓会の皆さま、全関西大学関係各位の深いご理解と力強いご支援をお願いいたしたく存じます。

私どもは、教育環境を整備し、本校に学ぶ生徒の教育効果を最大限に上げ、「文武両道」の伝統にさらに磨きをかけていきたいと強く念願いたしております。本事業の趣旨をご賢察いただき、何卒、格別のご協力、ご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2. 募金要項

① 募金目標額　４億円（総事業費総額　20億円）

② 募集期間　平成24年～平成30年の６年間

③ 寄付金額

・教職員および保護者　1口10万円を２口以上

・同窓生　1口１万円を２口以上

◎１口未満のご寄付もありがたく頂戴いたします。

④ 振込について

同封の「寄付申込書兼振込用紙」にて銀行振込または郵便振替でお願いします。

3. その他

① 平成23年度の税制改正により税額控除制度が導入され、寄付金の免税措置が拡充されました。税額控除方式によると、寄付金から2,000円を引いた金額の40%が控除されます。ご不明の場合は、関西大学財務局資金課（06-6368-7737）、または本校の事務室（06-6328-5964）までお問い合わせください。

② 正規の「趣意書」がお入用なかたは、本校の事務室までご請求ください。

編集後記

この度第35号は16ページとさせていただきました。昨年度より関西大学北陽高校同窓会のホームページにもたくさんの寄稿をいただき、会員の近況報告として一部掲載させていただきました。これからも会員の皆様からの多くの情報をお待ちしております。

母校・恩師・卒業生の三位一体を目指す同窓会にとって恒例となりました、ホームカミミンクデー＆還暦同期同窓会も第5回目となり、これからも長く継続出来ることを同窓会役員一同願っております。

今年の8月には新体育館も完成し、装いも新たに関西大学北陽高校がスタートします。趣旨をご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。

広報委員会

関西大学北陽高校同窓会ホームページ　http://www.hokuyo-ob.jp/

北陽同窓

会報　第35号

2013 年 2 月 16 日

発行　関大北陽高校同窓会

編集　同窓会広報委員会

題字　関東支部 内海　昭

同窓会が目指すべき方向と役割、そして繋がる活動を

関西大学北陽高等学校同窓会 会長　足立 宗央（昭和42年卒業）

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃は同窓会運営に対して、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成20年2月に校名が変更されて5年目に入りました。今年3月には関西大学北陽高等学校に入学した3期生が母校を巣立って行きます。そして関西大学には毎年200名を超える卒業生が進学して、国公立にも進学する学校に変わりました。中高一貫教育を目指す中学生も入学してきます。その間、福武学園北陽高等学校で教鞭を取られていた先生方も過半数以上が去られました。正直、「北陽は遠くになりにけり」と感じているのは私だけでしょうか。確かに母校の進学内容を賞賛される同窓の方も少なくないでしょう。しかし「名門北陽の復活」を願う同窓の方も少なくないと思います。全国高校駅伝大阪代表4年連続出場と27位は快挙であり、名門復活の兆しと信じたいです。

会長として2期4年目になりますが、同窓会の方針は三木元会長から引継いでいる「同窓会活動は卒業生全員を対象と、推し進めるという大原則」、前神山会長から引継いだ「三位一体（学校・恩師・同窓生）の実現である再会に繋がる活動」、そして「同窓会単体としての活動から、PTA・クラブOB会との連合体」へと拡大を図り、母校北陽の期待に応えられる活動を目指していきたいと考えております。

繋がる活動として、継続している「ホームカミングデー＆還暦同期同窓会」を今年度は11月9日（土）に開催いたします。ぜひ母校に帰って恩師・級友との再会の場にして頂きたいと願っております。

又、同期会等を開催されている幹事の方々にお願いします。ぜひ同窓の近況をお知らせください。同窓会にとって大事な繋がる活動と位置付けております。

最後になりましたが、懸案であった老朽化による体育館の建替えが始まり、今年8月に完成予定です。同窓会は繋がる活動として募金協力すべきと考えておりますので、同窓の方々にも主旨をご理解の上、何卒ご協力をお願い申し上げます。そのためにも、同窓の方々に自薦・他薦に関わらず委員会委員として参加して頂き、私たちと共に一丸となって活動して頂けますよう、よろしくご支援ご協力そしてご参加くださいますようお願いいたします。

大阪高校駅伝4連覇偉業報告と念願の体育館建替え寄付のお願い

関西大学北陽高等学校　学校長　鈴木 清士

大阪高校駅伝で四連覇を果たした本校の陸上競技部は、昨年の12月23日に京都で行われた全国高校駅伝に出場しました。前回は38位に終わり、リベンジを誓い合った選手たちでしたが、今回は27位と大健闘をしてくれました。大阪のゼッケン「27」が当面の目標でしたから、何とかこの目標をクリアーし、リベンジを見事に果たすことができました。そして私たちにも大きな希望と喜びを与えてくれました。

さて、関西大学は昨年10月池内新理事長のもとで新しい執行部にかわりました。

理事長就任の挨拶で池内氏は、

①教職員が一丸となって関大の教育の充実と発展を図る

②安定した経営基盤を作っていく

③どんな困難に対しても逃げないで向かっていく

という3つの基本方針が示されました。

一方、2012年に北陽中学校は完成年度を迎え、2013年は北陽中学校一期生が北陽高校に入学してくる年であります。その意味で2013年は、関大北陽としての中高一貫教育が文字通りスタートする年であり、関大北陽の命運をかけたコース改編の年であります。

改編の大きな狙いは、

①従来のⅡ類を募集停止し、他の併設校と同様にほとんどの生徒が関西大学へ内部進学ができるよう、Ⅰ類を特進および文理コースに再編成する

②北陽の歴史と伝統を支えてきたスポーツのさらなる充実を図るため、スポーツコースを2クラスに増設する

の2つあります。

また、8月には新体育館が竣工し、年度末の3月にはグラウンドは人工芝に生まれ変わります。総額が20億円を超える、北陽の教育環境の充実のための一大事業でありますが、数ある施設設備拡充案の中で、北陽の充実を優先していただいた法人に対しては、どれだけ感謝の言葉を申し上げても言い尽くせないほどであります。

教員が一丸となって関大北陽の教育の充実をはかっていく、というのは教師として当然の責務でありますが、一方では、法人に対しても経済的な支援をさせていただく、つまり積極的に私たち自らが体育館の寄付をさせていただく努力をすることが必要だと考えています。そして、その上で同窓の皆様にもご協力をお願いしたいのであります。

この会誌の末頁をお読みいただき、今一度主旨をご理解の上、さらなるご協力の程をお願い申し上げる次第であります。

第35期 定期代議員会が開催されました

日　時：平成24年4月21日(土)14時00分～17時30分
場　所：関西大学北陽高等学校1階大会議室にて

旧代議員120名と新代議員71名に呼びかけ、委任者41名を除き出席者は合計31名でした。

開会の弁から始まり、物故者に黙祷、校歌斉唱、足立同窓会会長の挨拶、鈴木校長先生の挨拶、議長選出、議案審議及び報告と進み、第1号議案から第6号議案まで、すべて審議頂き全員の賛同を得て可決致しました。

特に今期は役員改選期であり新執行部の発表、鈴木校長先生からは体育館建替えの建設事業募金趣意書説明と同窓生各位に募金協力のお願いを述べられました。

又、委員会終了、懇親会(希望の方対象)15時30分より2階小食堂にて開催致しました。

委員会の緊張感から解き放たれ、恩師･金澤勇先生、金澤洋先生と鈴木清士校長に入って頂き、談笑談義で盛り上がり時間があっと云う間に過ぎ17時30分、惜しみながら解散しましたが、校門近くで、生徒の皆さんから、「こんちわ」と挨拶され、何かホッとした気分になりました。

なお、新執行部及び決算報告･予算書は次の通りです

総務委員長　北川　徹 (昭和45年卒)

役員･顧問

(平成24年4月～26年3月)

☆印　新任

役　職		氏　名	卒　年	担当職務
会　長		足立　宗央	昭和42年	ホームページ担当
副会長		北川　　徹	昭和45年	総務委員会　委員長
同		山内　直行	昭和42年	広報委員会　委員長
同	☆	喜多　憲冶	昭和41年	組織･事業委員会　委員長
理　事		内海　　昭	昭和43年	関東支部･広報委員会　支部長
同	☆	岩内日出男	昭和48年	学校窓口兼 組織･事業委員会　副委員長
同		中尾　　明	昭和50年	広報委員会　副委員長
同		澤田　　渉	昭和58年	事務担当兼総務委員会　副委員長
会　計		曽川　　透	昭和54年	広報委員会　副委員長
監　事		阪田　裕弘	昭和41年	組織･事業委員会　副委員長
監　事	☆	國府島勇三	昭和45年	関東支部･総務委員会　副委員長

名誉顧問		鈴木　清士		関大北陽高校　学校長
顧　問		神山　興三	昭和33年	前会長
同		米川　修二	昭和42年	前副会長
同		岡田　彰布	昭和51年	

委員会委員

☆印　新任

役　職		氏　名	卒　年	担当職務
代議員	☆	深谷　正昊	昭和20年	組織･事業委員会
同	☆	西本　太一	昭和41年	組織･事業委員会
同	☆	濱田　康雄	昭和41年	組織･事業委員会
同	☆	松上　利男	昭和44年	組織･事業委員会
同	☆	速水　　隆	昭和48年	広報委員会
同	☆	池田　勝一	昭和49年	広報委員会
同	☆	音頭　善勝	昭和49年	組織･事業委員会
同	☆	川合　浩幸	昭和58年	広報委員会
同	☆	田村　大作	昭和59年	組織･事業委員会
同	☆	密原　宏信	昭和63年	広報委員会
同	☆	西澤　宏之	平成4年	組織･事業委員会
同	☆	長尾　　昭	昭和29年	組織･事業委員会
同	☆	岡田　勝男	昭和35年	広報委員会
同	☆	大矢　　登	昭和38年	広報委員会
同	☆	城島　末明	昭和40年	広報委員会
同	☆	井上　靖彦	昭和41年	組織･事業委員会
同	☆	西田　和夫	昭和41年	組織･事業委員会
同	☆	増田　正彦	昭和41年	組織･事業委員会

平成23年度　決算報告

自　平成23年４月１日
至　平成24年３月31日

収入の部

(単位　円)

科　目	予　算	実　績	摘　要
前期繰越金	3,954,312	3,954,312	
会　費	4,000,000	3,613,908	322名（3,220,000、393,908）
会員･会報協力金	100,000	575,000	115名(22年度26名/23年度89名)
代議員会費	100,000	52,000	26名×2,000(2次会参加者)
雑収入(受取利息)	9,000	1,185	預金利息
総合計	8,163,312	8,196,405	

支出の部

科　目	予　算	実　績	摘　要
会議費	0	0	
代議員会会議費	100,000	75,735	
人件費	0	0	
交通費	100,000	87,150	各委員会、役員会等交通費
消耗品費	100,000	251,115	コピー機及び保守料、封筒、事務消耗品等
通信費	600,000	672,756	会報34号発送費、電話料金、切手、葉書
慶弔費	1,000,000	882,730	卒業祝贈呈品、課外活動副賞、教員お礼
支部費	50,000	32,668	関東支部活動費
雑費	200,000	89,910	名簿メンテ、振込料他
予備費	1,500,000	0	体育館建て替え
小計	3,650,000	2,086,174	
会報発行費	1,340,000	1,393,375	会報4500 部、HP 更新料
組織･事業運営費	0	－1,535	協力募金払込料、ホームカミングデー
小計	500,000	1,010,835	
合計	4,150,000	3,097,009	
次期繰越金	4,013,312	5,099,396	
総合計	8,163,312	8,196,405	

平成24年度 予算書

自　平成24年４月１日
至　平成25年３月31日

収入の部

(単位　円)

科　目	予　算	摘　要
前期繰越金	5,099,396	
会　費	3,930,000	393名X10,000(卒業予定者393名)
会員･会報協力金	100,000	発刊の変更(5年に一度)に伴い定額から任意
代議員会費	60,000	30名×2,000(2次会参加者)
雑収入(受取利息)	1,000	預金利息
総合計	9,190,396	

支出の部

科　目	予　算	摘　要
会議費	30,000	各委員会開催
代議員会会議費	60,000	
人件費	0	
交通費	100,000	役員会、各委員会等交通費
消耗品費	250,000	コピー機及び保守料、封筒、事務消耗品等
通信費	700,000	会報発送費、電話料、切手、葉書等
慶弔費	1,100,000	卒業祝、部活支援、課外活動副賞、お礼
支部費	50,000	関東支部活動費
雑費	200,000	名簿メンテ、振込料他
予備費	1,500,000	体育館建替え基金として計上
小計	3,990,000	
会報発行費	1,100,000	会報発行(4,500 部予定)、HP 運用等
組織･事業運営費	100,000	クラス会･OB部活支援
小計	1,200,000	
合計	5,190,000	
次期繰越金	4,000,356	
総合計	9,190,396	

第５回 ホームカミングデー&還暦同期同窓会 開催

第5回ホームカミングデー&還暦同期同窓会が開催されました

昨年11月10日（土）、第5回ホームカミングデー&還暦同期同窓会が開催されました。当日は希望者による「学内施設見学会」を実施。我々の在学中と違い、美しく立派になった施設に感激のお言葉を頂きました。

式典は参加者による自己紹介に始まり、大食堂にて「懐かしの学食体験」ではカレーライス、うどん等に舌鼓を打って頂きました。母校ジャズバンド部による「歓迎ミニコンサート」で校歌・ジャズ演奏を聴き、恩師、部員と参加者での記念撮影を致しました。

全国駅伝代表が決まった出場選手の参加による「壮行会」も実施して、同窓会からお祝い金として10万円を贈呈しました。

鈴木学校長、金澤勇・洋の両先生による「懐かしの授業体験」を受講していただき、3時間はあっという間に時が過ぎました。希望者による2次会が執り行われ、再会を楽しみにお開きとなりました。

還暦対象者は2名の出席となり寂しさを痛感しましが、**今年11月9日(土)の「ホームカミングデー&還暦同期同窓会」は、還暦をお迎えになる昭和47年卒の皆さまには**、お互いにお声を掛け合って頂き、ふるってのご参加をお待ちしています。

組織・事業委員長　喜多憲治(昭和41年卒)

ー60歳以上の同窓の方にお知らせー

ホームカミングデー&還暦同期会の告知版です

来る11月9日（土）、母校（上新庄）の校舎をお借りして開催致します。
実行委員会からのお願いです。
当日のスタッフも大募集しています。

第5回 ホームカミングデーに参加して

新しい校舎、食堂等見学させていただき大変、変わった印象を受けました。

今後とも、末永く同窓会が続くよう監事の方、大変とは思いますがよろしくお願いいたします。

34年卒　吉田 稔弘

昭和38年に卒業して約50年になります。最初は銀行に勤め金融関係、不動産、建築関係の仕事をし、今年から充電し、10月からパートで建設、不動産の営業の仕事をしています。

今考えますと昭和36～38年の3年間で人生の基礎を学んだことが、一番だと思っています。銀行では毎年、北陽の卒業生が入行して来ました。銀行内部で卒業生を集めて北陽会を作り社会人としての協力ができる会合をしてきました。

今回の同窓会に参加出来、仕事中心の生活から少し自分の時間が出来たと思います。

私が通学していた学校から比べると180度違い立派な学校になっています。又、ミニコンサートは若さをいただき大変自分に気合が入りました。

今後ともよろしくお願いします。ありがとうございました。

38年卒　竹谷　宏之

大変有意義な一日でした。来年度も出席したいと思います。

幹事の皆様大変ご苦労様でした。

38年卒　松本　勇

卒業して50年ぶりに学校に来て何もかも驚きの連続です。後輩たちの礼儀正しく又真剣な顔を見て先輩として大きな顔をして町を歩くことが出来るので非常に安心しました。

今後とも後輩たちにあらゆる面でサポートしていくことを約束します。

38年卒　笹辺　正行

「後輩に感謝」

今回初めて参加させていただきました。特に嬉しかったのは陸上競技部が全国高校駅伝大阪予選で4連覇し都大路を走ることになりました。

それを祝して、本校ジャズバンド部が校歌を演奏し、激励してくれました。

駅伝チームのメンバーから自己紹介があり、昨年都大路の忘れ物(昨年38位以上、上位入賞)を、とりに行く決意表明をしてくれました。陸上競技部のOBとしては、非常に嬉しく思っています。今後の陸上競技部の益々の活躍を祈っています。

40年卒　城島　末明

昨年転職して、今回始めて今年から参加させてもらいました。

金沢兄弟先生には、色々お世話になりました。兄先生には卒業時の担任でしたし、弟先生には、クラブ(バスケット)の顧問でお世話になり、懐かしく思います。

来年も参加したいと思います。

41年卒　中村　裕

ジャズバンド部の校歌を聴くと、胸にジーンと来て感動しました。同じクラスの友人に1年ぶりに会いもっと多くの友達と再会したいと思います。

41年卒　阪田　裕弘

昨年始めて参加して今回で2度目ですが、前回よりも今回のほうがより感動いたしました。

又、校歌をジャズバンドで聞き涙が出そうになりますが感動のほうが勝っています。

次回もぜひ参加させていただきたく思います。

41年卒　吉田　進

同窓生に会うのは本当に楽しい。又、恩師のお元気な姿を見られるのが又うれしい!!

「人にして信なくば、其の可なることを知らざるなり」

お互い誠実と信頼で物事が成り立つ

41年卒　濱田　康雄

65歳が間近に迫ってきた私には、還暦同期同窓会は遠くになった昔の思い出が、昨日の出来事のように思い出しました。

又、時間があればぜひ参加したいと思います。

41年卒　増田　正彦

楽しい半日でした。昔を思い出しました。円形校舎の時の時代が懐かしいです。

42年卒　栗原　貞雄

久しぶりの校歌を聞き、感激しております。又、久しぶりの級友とも逢い、昔に返った気持ちになり楽しかった。　**42年卒　林　修平**

駅伝が4年連続優勝できたときに同窓の皆さんにいい報告が出来、そして1人ひとりのお言葉が追い風になりますよう頑張りたいと思います。ありがとうございました。

(現母校陸上競技部顧問)

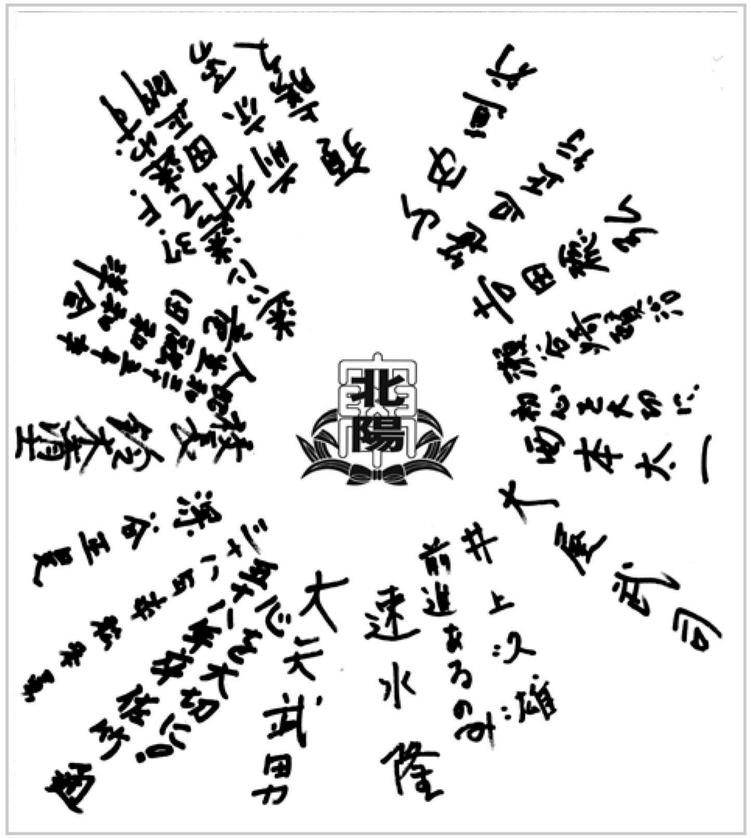
42年卒　米川　修二

今回初めて参加させていただき、未だ還暦には数年ありますが先輩たちとお会いして楽しかったです。又、学校見学や学食での飲食は私の時代とは変わりましたが昔を思い出しました。金沢先生の面白い 又 為になる授業を聞き、楽しく 又 参加したいと思いました。

51年卒　梶浦　繁樹

今回初めて参加しました。

卒業してから母校に行く機会はなかなかないので、同窓会がその機会を作って頂いて感謝です。諸先輩の話し、在学中には受ける事のなかった金沢先生の授業久しぶりに純粋な気持ちになれた1日でした。今後もホームカミングデーが続くことを期待しています。



同窓会の役員の方々ご苦労様でした。

52年卒　八木　知之

諸先輩方の話を多く聞くことが出来て、大変有意義な時を過ごすことが出来ました。

又、陸上部・ジャズバンド部の活躍に勇気を頂くことが出来ました。

北陽高校の歴史と伝統を胸に今後も社会の中で頑張って参ります。

本日は本当にありがとうございました。

59年卒　田村　大作

「懐かしの授業　鈴木学校長学級」

鈴木学校長より関西大学と北陽高等学校との合併について大変深い縁(えにし)があり、その歴史を踏まえて説明をされ、次のようなお話をいただいた。

北陽の設立に関して文部省への申請に関与された山岡 順太郎氏や初代設立者 山岡 倭氏また創立者で初代校長の糸島　實太郎氏など、関西大学との深く関わりのある方々によって誕生した。また北陽同窓会初代会長から第4代会長まで関西大学卒業された方々で、特に第2代目会長の稲野 治兵衛氏は母校の育英資金に私財を投下されるなど、母校ならびに同窓会の発展に貢献された。その育英資金は現在も生かされている。

初代理事長の福武 平十郎氏は大変立派な教育者であった。また北陽高等学校とのご縁は福武氏からお話がきっかけとなり教員として勤務することができ素晴らしい出発をさせていただいた。福武氏の話をされた時、当時のことを思い出され感極まり声を震わせ、また涙に咽びながら話しておられたのが、印象的であり、良いお話を聞かせていただき素晴らしいホームカミングデーでした。ありがとうございました。

35年卒　竜田　洋

北陽高校の歴史を学びました。

今ある関西大学北陽高校の歩み。なぜ知・徳・体の精神が引き継がれ事の意味がよくわかりました。北陽スピリット、北陽愛を心に刻み忘れることなく母校の繁栄を祈ります。

48年卒　速水　隆

関西大学と北陽商業高校との関わりを知り、関西大学が兄弟関係であった歴史や現在に至る学校名の伝総の保護、建学の精神である知育、徳育、体育の大切さや教育者同志の大切さなど、現在関西大学北陽高校になるまでご努力とご尽力が理解できました。

これからも経緯や歴史を大切にしていただき卒業生として胸を張っていきたいと思います。

ありがとうございました。

58年卒　佐竹　通

「懐かしの授業　金澤兄弟学級」

懐かしの授業体験　金澤勇、洋両先生のお話しを聞き大変懐かしく楽しく受講いたしました。

三途の川　⇒　三途とは、金貸さず、人の世話をせず、印鑑を押さず楽しく時間が過ぎました。

41年卒　喜多　憲治

金澤　洋先生の授業は、まだ私が入学前、硬式野球部が全国高校野球大会甲子園初出場時の

お話し。校歌の譜面を作成しておらず、即興でおたまじゃくしを作った苦労話。

私の入学時には吹奏楽部があったが当時指導されていた原田先生が協力されたとは初めて聞きました。また私が卒業してから創部された今は無きアイスホッケー部の苦労話。

金澤　洋先生独特の間合いのある話し方と表情は、私が1年時に担任でお世話になった当時を思い出し、厳しいご指導の反面、情あるご指導を受け、大変懐かしく思い出されました。

続いて金澤　勇先生の授業は、私の在校時は商業を教えて頂きました。印象に残るのは商業実務(珠算)。US$や英国ポンドの日本円に換算した金利計算など。

金澤　勇先生は、商いの家で育たれ商売人の教訓が三つあり、金は貸さない。印鑑は押さない。金銭や有価証券がらみの保証人にはならない。他の世話役はウエルカム!できればバックアップすることで自身の記憶や身体を動かすことで健康にも良い。

同窓会も同様ですと、先生は今も大商学園の理事、自治会の役員、またボランティアなど兼務されていて自身模範としたいお方。お二人の授業は来年もお願いしたく、いつまでもお元気で、また同窓会に対してアドバイス頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

45年卒　北川　徹

還暦 同期同窓会

今年還暦を迎え初参加させていただきました。

卒業年度別の参加を見て少ないのがさびしい限りですが、今回参加をして楽しい同窓会でありました。今後とも宜しくお願い致します。

46年卒　中川　泰伸

今年度は、お2人が還暦を迎えられました。おめでとうございます。

卒業以来の母校で、私にとっては最初で最後の登校になるでしょう。

近くにマンションが多く建てられており、校門に着いたら汗だくの自分でした。

きつねソバも美味しかったし、ジャズバンド部のボリューム音が高く、いつも歌えない声でたくさん歌わせていただきました。

担任の曽根先生には会えなかったが、なんだか懐かしみごとが多くあって、笑う声が未だに耳にひびく思いでした。

学校の設備も昔と比べると比較にならないと考えると何だかさびしく思います。

一番変わったと思うことは、土足から上履きに変わったことかもしれませんが、クラブ活動も校風も良くなったと思いました。

当時と比べて国際気質豊かな学校に変わり、とても楽しい土曜日になりました。

46年卒　橋本　幸弘

母校だより

課外活動表彰

本年度は、個人部門で全国大会に出場した水泳部4名、陸上競技部5名、スケート部4名の13名が課外活動優秀賞として、団体部門で、水泳部、柔道部、空手部を課外活動奨励賞として表彰しました。

優秀賞

受賞者からの喜びの声

○全国高校総体出場　3年J組　築山　翔太

インターハイに出場して感じた事があります。
それは、全国トップと自分との圧倒的な差がある事です。どのような面かというと、技術的な面、体力的な面でした。この差を埋める努力が必要だと、痛感しました。

しかし、悔しさだけでなく、全国レベルで戦う楽しさや、とても良い経験をさせてもらいました。この経験を生かして、大学では全国のトップに追いつき、追い込せるように努力していきたいと思います。

○全国高校総体出場　3年J組　前野　湧太

私は、昨年行われたインターハイに800Mフリーリレーの正選手として出場しました。この大会では、昨シーズンでのチーム最高タイム、私自信の最高タイムで泳げる事が出来ました。それでも、全国の壁は高く十分には通用しませんでした。

私は、この経験を生かしていき、大学生になったら全国に通用する水泳選手を目指し、常に努力し、日々のトレーニングに励んでいきたいと思います。

○全国高校総体出場　3年F組　太田　龍二

私は、昨年のインターハイに400Mフリーリレーで出場しました。私としてはインターハイに初出場だったので、不安や緊張でいっぱいでした。

そんな中でのレースで私は、自己ベストタイムで引き継ぐことはできなかったけれど、他の3人に助けてもらい、チーム全体のベストタイム更新ができて良かったです。改めてリレーの大事さがわかりました。

全国大会で決勝に残るという目標にはとても届かなく、同時に厳しさを肌で痛感しました。この経験を生かしてこれからも頑張ります。

○全国高校総体出場　3年I組　牧野　涼夏

私は昨年のインターハイで出場したのは2回目でした。一昨年初めて出場した時には全国の壁の高さを知り、一層練習に励んできました。その努力の成果を出すために2回目のインターハイに挑みましたが、やはり全国の壁は高く悔しい思いをしました。この気持ちを後輩たちに託したいと思っています。

全国で戦える、また人としても大きく成長してほしいと思い、これからは関大北陽水泳部を応援したいと思っています。　頑張れ!!関大北陽水泳部の後輩たち!!

○全国国民体育大会出場　3年D組　宮田　弘輝(三段跳)

初めての全国インターハイで、試合前日は緊張のあまり夕食も全く食べることができず、夜も寝ることができませんでした。当日の午前中に行われた予選での1本目・2本目は緊張から思うように体が動きませんでしたが、ようやく3本目に自分らしい跳躍ができました。午後から行われた決勝では、負けたくないという気持ちが、どんどん調子を上げていくことができ、6本目の最終跳躍で逆転優勝し日本一になることができました。前日から続いた緊張をようやく力に変えることができました。高校生の最高の場所で、最高の結果を残せたことは、一生の思い出になりました。

○日本ジュニア・ユース選手権大会出場　2年D組　中村　浩一朗(800m)

2年になってからの目標であった日本ユース出場することができました。全国大会は今までに経験したことのない雰囲気で、不安や緊張でいっぱいでした。レースが始まる前に「少しでも駅伝の流れになるようなレースをする」と、チームメイトに言ったことを思い返してからスタートラインに立ちました。ゴールタイムは、自己ベスト更新できましたが、全国のレベルの高さを痛感することができました。今後の目標は、全国インターハイで入賞することです。そのために、質の高い練習を心掛けていきます。

○日本ジュニア・ユース選手権大会出場　2年E組　中村　瑠菜(走高跳)

2度目の日本ユースだったのですが、昨年は記録なしと悔しい思いをしたので、今年こそはという気持ちで出場しました。結果は満足いくものではなかったのですが、次の全国インターハイに向けての新しい目標ができ良い経験になりました。今年で高校生活最後のシーズンになるので、もっと力をつけてインターハイ・国体で活躍できるように、頑張りたいと思います。

○日本ジュニア・ユース選手権大会出場　1年G組　田中　駿平(三段跳)

今回、日本ユースに出場したのですが、自分の力を出せず苦い思い出になってしまいました。この試合を通して全国大会の雰囲気を経験することができ、まだまだ全国の上位選手との差を感じることができました。この冬場で自分に足りない部分を強化して、夏の全国インターハイで勝負できる選手になる努力をしていきたいと思います。

○日本ジュニア・ユース選手権大会出場　1年H組　柴田　華那(砲丸投)

私は、今回日本ユースに出場して、とてもいい経験ができました。結果的には、高校生になって初めての全国大会で緊張もあり、自分の力を出しきることができずに最下位に終わってしまいすごく悔しい思いをしました。今年は、その悔しい思いを忘れることなく冬季練習では自分に妥協することなく、目標としている全国インターハイ出場を達成できるように頑張っていきます。

○全国高校スケート競技選手権大会出場
フィギアスケート　2年J組　上市　葉菜子

私にとって2回目のインターハイ出場は、1月22日から26日、新横浜でありました。前日の公式練習では、ジャンプが上手く跳べてミス無く出来たので、これが本番だったらいいなぁと思い、いつもとは違う緊張感で本番を滑りました。本番ではジャンプは跳べましたが、スピンの回転不足を減点され、思っていたほど得点が出なかったので残念でした。でも、自分では思い切り滑り、演技が出来ました。インターハイは幼い頃に日ス連合宿などで知り合った、全国のスケート選手=友人と、再会できる貴重な大会です。

来年の最後のインターハイに向けて、毎日頑張って練習していきたいと思っています。

○全国高校スケート競技選手権大会　国民体育大会出場
フィギアスケート　2年J組　澤井　梨紗

今年新横浜で開催されたインターハイに出場しました。また翌週東京で開催された国体に大阪府代表として今年も出場しました。大阪府代表になること自体、とても大変なことなので、2年も選ばれて、とても嬉しかったです。インターハイではプログラムのミスなどがあり、満足のいく結果ではありませんでした。国体では大阪府の少年女子が5位に入賞できました。全日本トップの選手が大勢出場するなか厳しい試合でした。表彰式での感動は忘れません。今年は織田信成選手が大阪代表で出場して優勝し、とても盛り上がりました。小さい頃からスケートを続けてきて、本当に良かったと思いました。この気持ちを忘れずに、これからも努力していこうと思っています。

○全国高校スケート競技選手権大会出場
フィギアスケート　2年G組　門田　尚大

インターハイでは、自分の目標としていた決勝進出を果たすことができました。さらには中村君と力を合わせ、関大北陽が男子総合優勝をすることができました。これも支えてくださった先生や家族のおかげです。心から感謝しています。

また、大会に参加して、自分の課題が明確になりました。3回転ジャンプの種類を増やして上を目指します。今後も学業との両立をしつつ、日々努力していきたいと思っています。

○全国高校スケート競技選手権大会出場
フィギアスケート　1年I組　中村　優

今回のインターハイでは楽しんで臨むことができました。このインターハイが始まる前から楽しみで仕方がなかったというくらい待ち望んでいました。

団体戦で総合優勝という結果は自分の中で満足していますが、個人戦の方では総合第3位。今できることは全て出し切った結果なので悔いはありませんが、1位との差が大きく自分はまだまだだと痛感しました。これからもっと自分を磨いていこうと思いました。

敢闘賞

水　泳　部

水泳部顧問　**吉田　洋介**（平成16年卒）

平成24年度課外活動奨励賞を頂き有難うございました。同窓会の皆様に厚くお礼申しあげます。

水泳部は、昨年8月17日～8月20日まで新潟県長岡市ダイエープロビスフェニックスプールで行われた全国高校総体に出場しました。昨年に関してはとても厳しい戦いになりましたが、関大北陽の名前を背負って出場できた事は誇りに思います。

昨年で水泳部は、全国高校総体に27年連続29回出場になりますが、今後もこの伝統を絶やす事なく、日々努力し、熱く指導していきますので、温かい支援、応援の程よろしくお願いします。

柔　道　部

第54回近畿高等学校新人柔道大会団体戦出場について

柔道部顧問　**林　貞俊**

この度、柔道部は第54回近畿高等学校新人柔道大会男子団体戦へ4年ぶり6回目の出場を勝ち取りました。平成25年2月2日(土)に京都市武道センターにて行われます。9時40分から開会式が行われ、10時10分から団体戦の開始となっております。体育館の建て替え工事のため、校内での練習内容が限られているので、日頃は関大一高で練習しています。そのような中で、関西大学第一高校も出場を決めており、当日は関西大学の併設校として、ともにいい結果が残せるように生徒とともに頑張って参りたいと思っています。応援のほどよろしくお願いします。

空　手　部

空手道部は昨年に初めて近畿大会に出場しました。

空手部顧問　**村上　雄一**

昨年は女子の個人形のみ、1名の出場でしたので、男子団体組手での出場は今回が初になります。大阪は男子団体組手にエントリーする学校は約30校で決して多くはありませんが、浪速高校、東大阪大学柏原高校など全国トップレベルの強豪校がひしめきあっています。その中で我が校が勝ち残っていくのは簡単なことではありません。また、空手道の場合は、近畿大会に繋がる大阪大会が新人大会しかありません。6月の春季大会兼インターハイ予選で3年生が引退し、新たなチームでの初めての公式戦となります。生徒からすると高校2年生の秋が近畿大会に出場するラストチャンスとなる訳です。

今回のチームは2年生1名、1年生4名と非常に若いチームです。団体戦でも控え選手がいないギリギリの状態で勝ち上がってきました。ただし、1年生に経験者が2名おり、ポイントゲッターとして活躍してくれました。準々決勝の東大阪大学柏原戦でも、敗れはしましたが、接戦にもちこむ一年生もおり、今後さらに精進して近畿大会に常時出場し、さらには全国選抜大会へ出場できるレベルを目指していきたいと思います。

陸 上 競 技 部

陸上競技部は、第63回全国高等学校駅伝競走大会で過去最高の結果を出しました。

陸上競技部顧問　**米川　和宏**（平成10年卒）

昨年12月23日(日)、京都市西京極陸上競技場付設マラソンコースに於いて開催され、第4区の本藤君が区間12位、第7区の稲垣君が16位の激走を見せ、2時間9分43秒(昨年2時間11分4秒)、27位(昨年38位)と過去最高の結果を残すことができました。

大阪代表として31年連続出場を続けた「名門清風」を破り、その後4年連続出場を果たした結果でもあります。

今年1月2～3日に行われた箱根駅伝大会復路の第7区で、母校出身の熊崎健人(帝京大学2年)君が、ゴール手前で強豪早稲田大学とのデッドヒートの末4位入賞を果たしました。母校が「名門清風」の31年連続を阻止して大阪代表になった時、ゴールを切った1年生が熊崎君でした。

快挙は駅伝だけでなく24年度全国高校総体に於いても、宮田弘輝(3年生)君が三段跳びで優勝しました。

部員達は、「知・徳・体」の精神で、日々練習に頑張っております。

最後になりましたが、全国駅伝大会出場にあたり、同窓会、役員、福武前理事長からお祝い金を頂き厚くお礼を申し上げます。

先輩から

陸上競技部ＯＢ会会長　**中尾　明**（平成50年卒）

母校陸上競技部は6月の大阪高校総体で総合優勝、個人種目では3年生の宮田君が三段跳びで近畿高校総体及び全国高校総体で見事優勝しました。　全国高校総体でNo.1というのは、北陽高校、関大北陽高校を通じて初めて偉業を成し遂げました。

そして、大阪高校駅伝では見事4連覇を果たし、全国高校駅伝の大阪代表として出場し、全国高校駅伝では強豪高校の中、この4年間で最高の27位という実績をあげてくれ、陸上競技部OBとしては、とてもうれしい事が続いた一年でした。

勉強とスポーツの両立はなかなか難しいと思いますが、これは部員の日頃の練習と努力の賜物だと思います。

北陽の伝統を引き継いで目標に向って頑張っていますが、我々OBにとっても励みになっています。

○全国高校駅伝出場　一区　2年J組　大森　澪

今回で2回目の都大路となり、大会の雰囲気や流れがわかっていたので、緊張しすぎず自分の力がしっかりと出し切れたと思います。今年のチームは、上位入賞を目標に一年間練習してきました。チームの競技意識も高く、さまざまな大会も経験し、強豪校と競えるまでになった状態でこの全国高校駅伝に臨み、自信もある中でのレースとなりましたが、6キロあたりで先頭集団と離れてしまい、全国の強さを肌で感じました。チームは、27位と過去最高順位でゴールしましたが、もっと上にいく力があったと思います。常に上を目指し、どんな結果にも満足せずに、来年は、今回の順位を上回るための努力をしていきます。多くの方々に応援してくださっている事を忘れず、感謝の気持ちを持って走っていきます。

○全国高校駅伝出場　二区　3年D組　岡崎　竜也

私は、一・二年次は補欠で都大路を走ることができず悔しい思いをしてきました。今年こそはという気持ちで走ってきました。その結果、最後の記録会でベストタイムを出すことができ、メンバーに選ばれました。大会当日の移動中・アップ中ずっと足が震えるという緊張感もありましたが、やっとこの舞台を走れるといううれしさもありました。結果は、個人としては満足いくものではありませんでしたが、この都大路を走れたことは、僕の人生においてかけがえのないものになりました。

○全国高校駅伝出場　三区　3年J組　久保田　翼

今回で、高校生最後の都大路となり、自分としても、チームとしても色々な思いがありました。昨年の都大路の舞台で、悔し涙を流し、「来年こそは」という思いで、一年間かけて上位入賞できるチームを目指して取り組んできました。私が心掛けていた事は、キャプテンとして一番高い意識、一番強く、一番速い選手になることでした。辛い事や嫌な事は沢山ありましたが、色々な人の支えがあり、大阪駅伝四連覇し、都大路を走ることができました。結果としては、27位と目標を達成できませんでしたが、最後まで楽しく走れました。今まで、キャプテンをやってきて、仲間と一緒に走り、最高の思い出になりました。走る前に、みんなから「良いキャプテンやったぞ」と言ってもらえ、今までキャプテンとしてやってきた事が報われました。本当にありがとうございました。

○全国高校駅伝出場　四区　3年J組　本藤　光

私は、全国という舞台で走るのが今年で三度目となり、このチームで走る最後の全国となりました。大会当日走っているとき、私は沿道の人達の応援や襷に込めたみんなの思いのためにも全部出し切って、支えてくれた人達に笑顔で「ありがとう」と言えるようにと考えながら走りました。だからこそ私は最高の走りが出来たのだと思います。三年間長いようで短い時間でしたが、支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。

○全国高校駅伝出場　五区　3年J組　山口　周平

初めての都大路の舞台でした。一年生の時から悔しい思いをしてきて三年目でやっと、夢を叶えることができました。一年の時は、メンバー十人にすら入る事ができず、二年の時は、チーム内選考で負け、補欠となり本当に悔しくて、しばらく落ち込んだままでした。三年生になって順調にベストタイムを更新しメンバーに入ることができました。当日のテントで待機している間も緊張していましたが、現地に着くと緊張のあまり吐きそうになりましたが、アップを終わらせるといつの間にかリラックスできていました。襷をもらうと前に三人の集団がいて、追いつくためハイペースで入ってしまい、後半失速。全国での力の差を感じました。沿道では、OBの方、部員や学校関係者の声が沢山聞こえ力になりました。自分にとって都大路で走れた事は、一生の宝物です。

○全国高校駅伝出場　六区　3年H組　西田　侑樹

今回私は、6区を走りました。一年、二年とケガなどで都大路を走れなかった私にとっては、最初で最後の大舞台となりとても緊張していました。6区は、アップダウンの激しい5キロの区間だったのですが、すっかり全国の雰囲気に飲まれてしまい、自分の考えていたレース運びをすることができませんでした。結果、順位は一つ上がったものの区間順位はかなり下の方でした。結果は悪かったのですが、自分の全力を出し切れたレースでした。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

○全国高校駅伝出場　七区　3年I組　稲垣　諒

今回、私は3年間の集大成となる大会でアンカーを走らせてもらいました。これまで両親や先生方など多くの人に支えてもらったからこそ、この大舞台で走ることが出来るという感謝の気持ちを忘れずに、少しでも恩返ししたいと思い走りました。結果は、自分達が立てていた目標には届きませんでしたが、最後に楽しんで走っていくことが出来たので悔いなく終われました。応援してくださった方々、本当にありがとうございました。

進路状況

平成25年1月現在の進路状況は、関西大学の内部入試で196名、特進・チャレンジ入試で17名、スポーツフロンティア入試で4名の計217名です。卒業予定者392名のうち約8割以上の生徒が内定しています。

大学合格者数（抜粋）

注意：合格者は延べ人数

	大学名	卒業生数	関西大学	国公立大								主な私立大学																					左記以外の合格者数合計	総合計
				大阪大学	神戸大学	神戸外国語大学	大阪市立大学	大阪教育大学	京都府立医科大学	京都府立大学	帯広畜産大学	下関市立大学	関西学院大学	同志社大学	立命館大学	立命館アジア太平洋大学	近畿大学	京都産業大学	甲南大学	龍谷大学	大阪経済大学	佛教大学	大阪工業大学	摂南大学	神戸学院大学	追手門学院大学	桃山学院大学	京都外国語大学	関西外国語大学	同志社女子大学	武庫川女子大学	京都女子大学	甲南女子大学	神戸女学院大学	合計		
合格者数	2010年度	475	234		1			1	1		1		2		2	1	16	15	1	5	17	6	24	39	22	41	10	2	9	1	1			2	454	112	566
	2011年度	322	192	1		1	1	1		1		1	5	5	4		33	38	2	9	27	4	16	23	23	39	16		5		2	2	35	2	488	107	595

同　窓　の　近　況

『私達の同窓会』

私達七期生は昭和31年（1956年）に卒業し、以来56年の歳月が流れ、実に遠い昔となった。まだ敗戦の爪跡が残る時代で、衣食住の全てが不足していたが人々の活気は旺盛であった。母校北陽の学舎は木造二階建で京都線「淡路」駅から徒歩十分程度の閑静な住宅街にあり三年生はA･Bの2クラス名120名。三雲校長を始め牛神教頭、担任教師の脇坂、中村両先生も他界し想い出深い原田、庄田、木村先生にも逢えず唯一、国語担任の林元校長のみを知るだけで、この点は淋しい限りである。

我々の時代で最も燦然としていたのは、剣道部で校門入口正面に校旗と優勝トロフィー、盾、賞状が並べられ、ボクシング部も府下の強豪校として活躍していた。スポーツの面だけでなく大変驚いたのは二年生の時、まだ授業として習っていない商業工業簿記の上級資格を取得した恐るべき人物がいた。北陽高校は文武両道の歴史を引き継いでいたと自負している。1997年、会社から引退する時期を迎え高校生仲間も還暦を迎え何故か無性に学友に逢いたい気持ちが高ぶり、しかし同窓会の誘いは全くなく、このまま待っていても実現に結びつく事は考えられず、親友2名に相談「お前がでしゃばれ」「なんでも協力するから」と背中をおされて引き受ける事にした。1998年、平成10年2月だった。

同年5月に20名弱の仲間が揃い、第一回目の同窓会を東大阪市の枚岡山荘で13名の参加者を得て実施し、懐かしい友と42年ぶりの再会を楽しみ自己紹介一人制限時間5分と定めたのに三倍近く掛かり、全員の興奮ぶりに幹事も大満足した。去る5月12日（土）第十五回目を梅田新道のアサヒビアレスで56年ぶりの2名を迎え総数16名で実施した。

これまで長く継続してこられたのは、会員皆さんの御協力は申すまでもなく幹事として一番悩むのは、会場設定、料理や飲物、予算になるが一手に引受けてくれる仲間がおり大変助かり、そのお陰と思っている。

友達、学校の情報を伝えて最後は校歌を大合唱し、来年も必ず元気な姿で逢いましょう!!と約束の挨拶をして散会した。

辻橋 佑一（昭和31年卒）

同窓との50年ぶりの再会

同窓とは、ジャズ界の重鎮で、現在関西ジャズ協会理事、「アゼリアジャズオーケストラ」のリーダーでもある足立　衛さんです。西宮市立今津中学校の同級生で、昭和35年4月に笹辺正行さんと3人が北陽高校へ入学しました。足立君は今津中学校吹奏楽部ではリーダー格で、1年生から吹奏楽部の部長でしたが、高校2年の時に当時のNHK大阪管弦楽団にスカウトされたため、母校を去って以来音信不通になっていました。

私達は、毎年春に昭和38年卒D組の同窓会を開催していますが、彼がジャズ界で活躍していることを知り、何とか参加してもらえないか模索していました。

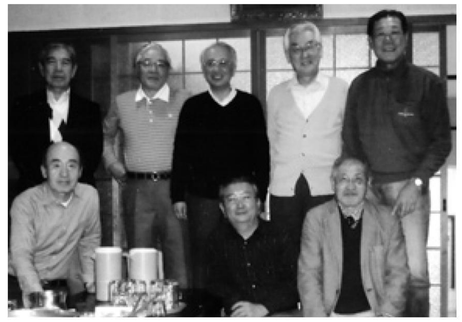
ところが、卒業後初めて「ホームカミングデー」に参加したところ、ジャズバンド部の歓迎コンサートがきっかけで、足立君の事を同窓会長に話したところ、足立会長から池田市で彼の主催のコンサートが12月12日にあるとの情報から、50年ぶりの再会が実現しました。

コンサートのリーダーとしての姿を見て、68歳となって長年にわたり観衆を満足させ、広く社会に貢献されている姿はトテモ、トテモ美しく見えました。コンサートが終わり、楽屋でガッチリ握手した時は、涙をこらえるのに必死でした。

後日（12月22日）、母校ジャズバンド部の演奏会がよみうり文化会館で開催されたので、足立君が時間を作って、激励に駆けつけてくれました。

竹谷　宏之（昭和38年卒）

38年D組の集い



写真は、後列　西田勝彦、増井可紀、松本　勇、大友邦彦、平井経夫
前列　紀本　勝、竹谷宏之、宮脇真人（敬称略）

昭和38年卒業D組クラス（荒賀先生）同窓会は、1996年から毎年開催しています。

当初は15名ほどの参加がありましたが転居等の関係と地方に住んでおられ、毎年参加することの出来ない方がおられ、現在は9名前後の参加者で開催しています。

昨年は3月17日（土）、阪急京都線南方駅前の「やぐら寿し」で開催されました。

幹事の紀本君の乾杯の後、幹事より本日参加できなく返信はがきに近況を書いておられる方の報告があり、その後参加者の近況報告や学生生活の思い出話で大いに盛り上がり、時間の経つのも忘れるほどであった。参加者は地域のボランティア活動で活躍され、まだまだ現役で頑張っておられる方など、皆さんお元気で社会に貢献されている様子が見れました。次回会うのを楽しみにして同窓会を終わりました。

竹谷　宏之（昭和38年卒）

「北陽岡田会」に参加して

平成25年1月12日（土）、ホテル阪急インターナショナルにおいて、岡田彰布前オリックスバッファローズ監督（昭和51年卒）の慰労会が開催されました。

「北陽岡田会」は、岡田さんが阪神タイガース監督就任をきっかけに、硬式野球部OB会が中心となって、同期の鳥居　敦さんが会長を引き受けられ毎年開催されています。

2年前に「北陽岡田会」の呼びかけで、「岡田監督を応援しょう会」が結成され、同窓関係者300人を超える参加者が結集、対日本ハムに圧勝して諦めていた「クライマックスシリーズ」への希望に繋がる催しになりました。（結果は出場出来ませんでしたが）

今回の参加は、昨年に計画していた「岡田監督を応援しょう会」が諸事情の理由で中止になった事もあり、会長の鳥居　敦さん、同期の梶浦繁樹さん、八木知之さん（昭和52年卒）らの呼びかけで、30人を超える同窓が参加しました。

プロ野球界では、監督として活躍された唯一の同窓で、母校愛に厚く、母校との繋がりを大切にされる人物であることは周知の事実です。

お話によると、今年は「読売テレビ」の解説者としてネット裏から、辛口解説が期待できそうです。パリーグファンは寂しいですが、今後はセリーグのみの取材に専念されるらしく、あの在阪チームの解説は本音トークで聞けそうです。（スポーツ紙はデイリーです）

最後に、参加者全員から阪神タイガースの監督復帰の声に、岡田さんは「Bクラスの常連チームなら引き受けたくないとの発言に、復帰を直感するのは私だけでしょうか…。

足立　宗央（昭和42年卒）

『戦うこと あきらめない』

胃がんを乗り越え、若い頃に残念したリンクに再び戻って戦い続ける清酒　直一さん（昭和43年卒、サッカー部）の記事「戦うことあきらめない」が読売新聞に掲載され、4月8日、大阪プロレスに於いて「OSF青春ファイト戦」に出場されました。

4月8日午後6時過ぎ、外気は冷たいが日中は穏やかな季節。試合会場に入ると大きな歓声が聞こえた。1階は満席で足立同窓会会長と私は2階に上がると立ち見の盛況でした。 各階級毎の試合内容がパフレットに掲載され、我が北陽同窓の先輩･清酒直一選手（61歳）は後半の出場。 ご存じの方もいると思いますが清酒先輩は50歳のときに、病で胃を全摘出されたが20歳代で覚えたボクシングを数年前から始められ、過去にはチャンピオンの肩書もある方である。

待ちに待った清酒選手が青コーナー辺りでウオーミングアップをされ、端正な顔立ちと均整のとれた身体には日ごろの鍛錬が物語り、風格を感じた。試合結果はドローで終わったが、アウトサイドスタイルのコンビネーション豊かなフットワークは年齢を感じさせない若々しさに溢れ、対戦相手もすきがないのか、攻めづらく威喝を感じた。

試合後はリング内での写真撮影にも気軽に応じられ、ファイティングポーズと眼差しは素人の私でも過去の実績が物語ります。

身体は充分いたわっておられると思うが、これからもベスコンディションでリングに上がられる事を望むと同時に、私心にファイティグスピリットをいつまでも忘れず再起させて頂いた事に感謝申し上げたい気持ちで一杯であった。

昨年11月10日に開催された「第5回ホームカミングデー」に於いて、鈴木学校長から、母校にボクシング部復活の話題が出た。

北川　徹（昭和45年卒）

恩師　佐藤誠一先生を偲ぶ

小柄で足早に校内を歩かれていた恩師・佐藤誠一先生。今もその面影は残っていますが、もうお姿は拝見できません。平成24年10月10日85歳で永眠されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

先生は私が2年生から3年生の時のクラス担任でした。

また20歳後半に同窓会職務を手伝ってくれないかと指名戴いた頃からのお付き合いでした。

先生は昭和56年同窓会事務局長に就任され、特に同窓会の会員名簿作成に尽力され、同窓会組織化の基を築かれた先生であったと思います。そして先生のご指導の下、私は同窓会と云う出会いの場で成長させて頂き、今は足立会長の下、微力ながらお手伝いさせて頂いています。

先生は大学卒業後10年ほど会社勤めを経験されその後、教師になられたと聞いています。母校退職後は川柳を趣味とされ、2年後には自らの節目とした200作品抜粋の「句集・水車小屋」を発刊されました。当時私は40歳過ぎ、川柳には興味がなかったのですが50歳越えた頃から気持ちにも多少余裕が生まれ、先生の作品を読むようになりました。歌はその時代、環境と年齢により微妙な気持ちに変化が生じ、私自身何度癒されたことでしょうか。先生がお元気であった頃は、どちらの作品が良いかなと、意見を求められた事もありました。中には新聞等に投稿された授賞作品も多く在り、日頃の生活や社会情勢を捉えた作品は会社勤めを経験された先生だからこそかもしれません。

私の結婚は在るクラスメートに先越されましたが仲人は佐藤先生にお願いしました。北川から頼まれたら断れないなと気持ちよく引き受けて頂きました。

先生は私の勤務先近くに来られたら立ち寄られ気軽に声をかけて頂き、お茶や食事も共にしました。昨年4月に家内と一緒にお訪ねした際、別れ際握手し見送って頂きました。これが最後の会話となり、今はお会いしたくても会えない、まだ信じられない気持ちです。先生にお世話になった先輩方、後輩方は多くおられます。佐藤誠一先生、天国からいつまでも教え子の成長を見守っていてください。

末永くお付き合いさせて頂き誠に有難うございました。　合 掌

同窓会副会長　北川　徹（昭和45年卒）

関東支部だより

平成24年度関東支部総会・懇談会が開催されました。

平成24年度関西大学北陽高等学校同窓会関東支部総会・懇談会が、平成24年6月23日（土）14時より、東京駅八重洲北口、日本橋二丁目にある老舗蕎麦店・ や婦久」（創業明治35年）において開催されました。

本部から神山前会長（33年卒）及び足立会長（42年卒）並びに初参加の山内副会長（42年卒:前関大北陽高校教諭）をお迎えし、関東支部から最年長の菊野氏（17年卒）をはじめ十時氏（37年卒）、実重氏（40年卒）、内海支部長（43年卒）、山本氏（45年卒）、國府島副支部長（45年卒）、高木氏（57年卒）、豊田氏（57年卒）及び正津氏（60年卒）総勢12名で開催となりました。足立会長から第35回定期代議員会の審議等について報告があり、次に関東在住のOBである長崎慶一氏（元大洋ホエールズから元阪神タイガースで活躍した）が近代五種協会の強化担当責任者に起用されたとの報告がありました。

引き続き、内海支部長の挨拶のあと、乾杯で懇談会が始まりました。今回は、4年振りに高木宣宏氏が参加（2008年中日ドラゴンズ2軍投手コーチ就任→2011年退団）仕事の関係で残念ながら小一時間で退席されました。初参加者の山内副会長の自己紹介から始まり、参加者同士の会話にも花が咲き、和やかな雰囲気の中で3時間の宴を満喫しました。同窓会名簿では、関東地域に居住されているOBが200名以上おられるそうですが、関東支部では、住居確認が完全に行われていない状況から、支部総会などの開催通知が一部の方々のみの連絡となっております。今後も同窓会の輪を広げていくためにも、先輩・同輩・後輩の所在が分かれば、是非同窓会のホームページ（http://www.hokuyo-ob.jp/）または、内海昭支部長のメールアドレス（422kc2@bma.biglobe.ne.jp）にアクセスして連絡してください。

（記:國府島 勇三）

同窓会協力募金ご協力ありがとうございました

卒業年度順・敬称略　平成24年12月末日現在

卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名	卒業年度	氏　名
元校長	林　敏夫	昭和23年	三木　憲三	昭和35年	浜元　孜	昭和39年	岡村　奉来	昭和43年	辻　道明	昭和51年	原　強
	大谷　宗平		山本　智生		岡田　武志		堀岡　宰充		内海　昭	昭和52年	岸間　忠秀
元教頭	金澤　勇	昭和24年	寺西　克美		竜田　洋		宮脇　可典		鈴木　善治	昭和54年	曽川　透
	棒谷　啓二	昭和26年	神保　信行		平岡　勇		往田　雄三		飯川　隆司		吉井　寛
元教員	長谷川清和	昭和27年	小林信次郎		山口　勝三	昭和40年	城島　末明		中向登美子	昭和56年	康村　則雄
	池崎真理子	昭和28年	斎藤　勇		山本　正明	昭和41年	西田　和夫	昭和44年	鮫島　輝明		延田　容一
昭和9年	岡田　耕一	昭和29年	三原　地生		義永　忠孝		喜多　憲治	昭和45年	国府島勇三	昭和57年	高木　宣宏
昭和11年	福島　顕夫	昭和30年	石井　正一		永岡　一泰		阪田　裕弘		北川　徹	昭和58年	渡辺　敏勝
昭和16年	西村　一男	昭和31年	熊野　暉	昭和36年	前田　省三		戸崎　一郎		林　智詞	昭和62年	松井　勝博
昭和17年	榎並　汎至		辻橋　佑一		前川　廣三		金本　要二		宮城　等		塩崎　哲治
	藤滝　昇	昭和33年	神山　興三	昭和37年	橋本　洋一	昭和42年	足立　宗央	昭和46年	橋本　幸弘	昭和63年	栗栖　和哉
昭和21年	岩畑　毅		川村　隆彦		前田　昌昭		栗原　貞雄	昭和48年	速水　隆	平成13年	北川　功
	岡本　修		丸山　一		村田　正明		松本　純一		山本　武司		永野　路博
昭和23年	粟田　文吉		石川　隆一		十時　良雄		小林　孝一	昭和50年	中尾　明	平成20年	中野　陽介
	武岡　昭夫		菱谷　昌弘	昭和38年	大野　健三		山内　直行	昭和51年	星野　勝	平成21年	谷口　大介
	捺本　忠次	昭和34年	吉田　稔弘		大矢　登		米川　修二		樋口　忠博	平成23年	江龍　学
	西本　芳男		入江　晃央		辻井　宏		寺田　賢作		岡田　彰布		匿名希望

今回ご案内により、ご逝去され、ご家族からご連絡頂いた卒業生の方々（敬称略）

昭和８年　商Ⅰ　寺西元太郎
昭和９年　商Ⅰ　前田耕司郎
昭和10年　商Ⅰ　西野　博男
昭和14年　商Ⅰ　水利　敏寛
昭和14年　商Ⅱ　坂西好太郎
昭和15年　商Ⅱ　三木　正夫
昭和16年　商Ⅰ　佐野　良晴
昭和16年　商Ⅰ　勝田　平助
昭和16年　商Ⅰ　田村　章一
昭和16年　商Ⅰ　辻井　武平
昭和16年　商Ⅰ　村田　勇
昭和17年　商Ⅰ　日栄　一三
昭和17年　商Ⅰ　中村　俊夫
昭和17年　商Ⅱ　中島喜三郎
昭和17年　商Ⅱ　宮崎　武雄
昭和18年　商Ⅰ（旧教諭）佐藤　誠一
昭和18年　商Ⅰ　奥田　正道
昭和18年　商Ⅰ　中路　浩
昭和20年　商Ⅰ　大西　龝夫
昭和20年　商Ⅰ　奥井　佳弘
昭和20年　工　中谷　利美
昭和21年　商Ⅰ　岩畑　毅
昭和21年　商Ⅱ　末永　寅雄
昭和27年　高商Ａ組　岡島　明博
昭和30年　高普Ｂ組　山本　義夫
昭和31年　高商Ａ組　浜　昌幸
昭和31年　高商Ｂ組　奥田　清光
昭和35年　高商Ｂ組　水津　修
昭和35年　高商Ｃ組　土肥　正樹
昭和35年　高商Ｅ組　小林　克巳
昭和35年　高商Ｆ組　茶岡　功
昭和36年　高商Ａ組　山中　裕
昭和36年　高商Ｄ組　田口美佐雄
昭和36年　高商Ｆ組　尾崎　勝
昭和36年　高商Ｇ組　西山　正幸
昭和37年　高商Ｆ組　枝常　晋吾
昭和38年　高商Ａ組　谷山　光男
昭和40年　高商Ｇ組　森田　隆夫
昭和41年　高商Ｂ組　水堂啓一郎
昭和42年　高商Ａ組　柴田　正雄
昭和42年　高商Ｄ組　水口　喜久
昭和42年　高商Ｅ組　加藤　義政
昭和42年　高商Ｇ組　辺見　孝
昭和46年　高商Ｄ組　金城　栄豊
平成元年　高普Ａ組　渡部　充博
平成３年　高普Ｅ組　新城　豊和
平成19年　高普Ｇ組　井寄　翼